

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

1件(O157)の報告があり、今年の累計は18件となりました。

腸管出血性大腸菌は、感染力が強く、わずかな数でも感染すると考えられていますので、手洗いの励行に心がけましょう。

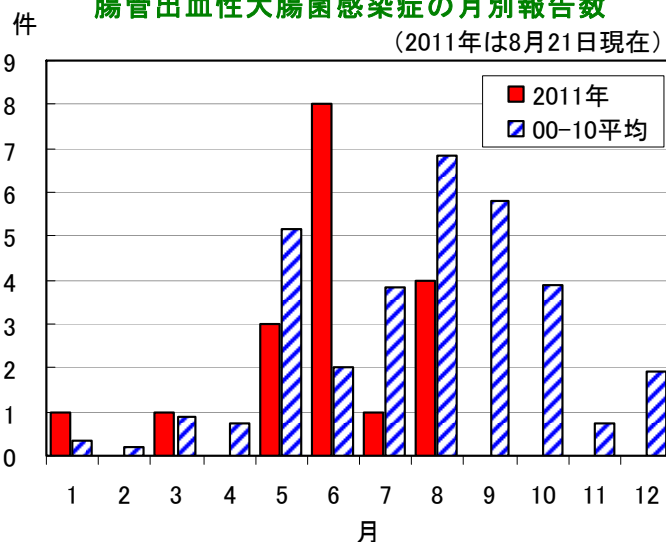
2. 手足口病

定点当たり3.17人とやや減少しましたが、例年に比べると多い状態が続いています(次頁参照)。引き続き手洗いなどの感染予防対策を徹底しましょう。

第33週はお盆期間中による医療機関の休診の影響で、実際の患者数よりも少なく報告されている可能性があるため、「定点把握感染症状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数

(2011年は8月21日現在)



■定点把握感染症状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.08		ヘルパンギーナ	18	0.75	1.14	
咽頭結膜熱	9	0.38	0.41		流行性耳下腺炎	9	0.38	0.63	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.17	0.53		RSウイルス感染症	1	0.04	0.07	
感染性胃腸炎	46	1.92	2.85		急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	20	0.83	0.48		流行性角結膜炎	10	1.43	1.05	
手足口病	76	3.17	0.59		細菌性髄膜炎	-	-	0.09	
伝染性紅斑	12	0.50	0.17		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
突発性発しん	10	0.42	0.65		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.51	
百日咳	-	-	0.04		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	7
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	3	167	男性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	18	女性(10歳未満)・O157

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	R S ウ イ ル ス 感 染 症	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎
報告数	広島市	第29週	-	7	18	67	11	194	16	10	1	47	10	1	-	7	-	-	4	-
		第30週	-	7	7	81	15	159	19	19	4	25	9	-	-	6	-	-	1	-
		第31週	-	6	21	50	21	141	17	14	1	18	10	-	-	2	-	1	4	-
		第32週	-	8	13	68	9	110	11	9	1	20	17	-	1	10	1	-	3	-
		第33週	-	9	4	46	20	76	12	10	-	18	9	1	-	10	-	-	3	-
定点当り	広島市	第29週	-	0.29	0.75	2.79	0.46	8.08	0.67	0.42	0.04	1.96	0.42	0.04	-	0.88	-	-	0.57	-
		第30週	-	0.29	0.29	3.38	0.63	6.63	0.79	0.79	0.17	1.04	0.38	-	-	0.75	-	-	0.14	-
		第31週	-	0.25	0.88	2.08	0.88	5.88	0.71	0.58	0.04	0.75	0.42	-	-	0.25	-	0.14	0.57	-
		第32週	-	0.33	0.54	2.83	0.38	4.58	0.46	0.38	0.04	0.83	0.71	-	0.13	1.25	0.14	-	0.43	-
		第33週	-	0.38	0.17	1.92	0.83	3.17	0.50	0.42	-	0.75	0.38	0.04	-	1.43	-	-	0.43	-
	全国	第31週	0.02	0.52	0.74	2.74	0.75	7.56	0.61	0.68	0.03	4.17	0.86	0.26	0.27	0.68	0.02	0.05	0.62	0.03
		第32週	0.02	0.45	0.59	2.24	0.62	5.70	0.44	0.60	0.03	3.21	0.78	0.28	0.27	0.65	0.02	0.05	0.70	0.04

■新たに判明した病原体検出状況

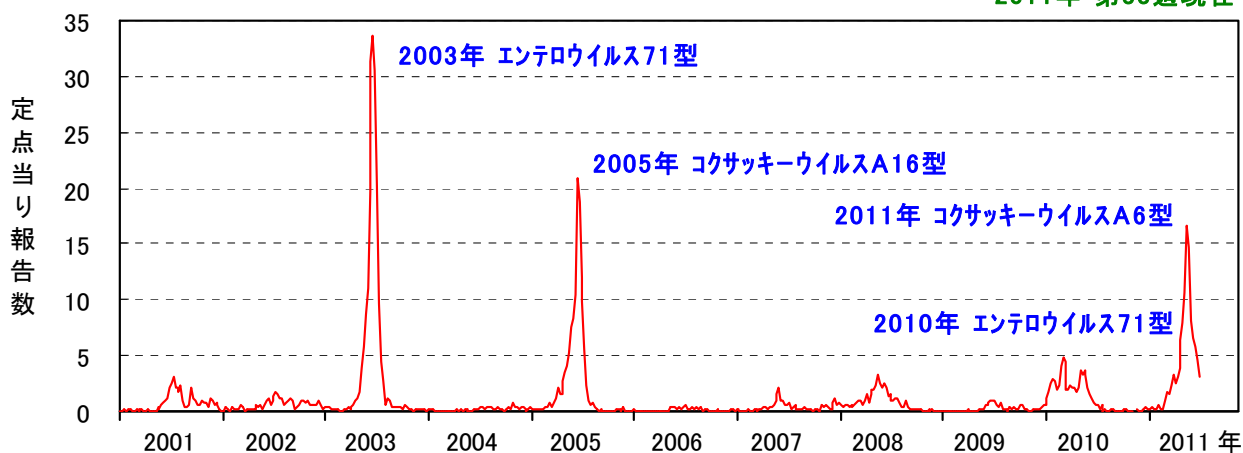
(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	上気道炎	0	女	2011/08/09	咽頭拭い液	百日咳菌
その他の呼吸器疾患(仮性クroup)	発熱(38.5) 肝機能障害	0	男	2011/07/10	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における手足口病の定点当り報告数の推移と原因ウイルス

2011年 第33週現在



手足口病は、幼児を中心に夏に流行が見られるウイルス性疾患です。基本的には予後良好な疾患ですが、頭痛、嘔吐、高熱を伴ったり、合併症として髄膜炎や脳炎をおこすことがありますので、十分注意が必要です。広島市衛生研究所の検査によると、今年の手足口病の患者からコクサッキーウイルスA6型が検出されています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2011年第33週(8月15日～8月21日)